

令和3年沼津市教育委員会 第11回定例会会議録

1 日 時 令和3年12月21日(火)
午後4時03分～午後5時16分

2 場 所 青少年教育センター2階 第2・3会議室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名(土屋委員 川口委員)
- (3) 教育長報告
- (4) 議案
- (5) 協議事項
- (6) 報告事項
報告事項1 令和3年11月市議会定例会一般質問等について
報告事項2 「2021高校生しゃべり場 in ぬまづ」の実施報告について
報告事項3 ビブリオバトル小中学生大会 in 沼津 2021の実施報告について
- (7) その他

4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 土屋葉子、委員 川口浩史、委員 重光純、
委員 佐藤清子、教育次長 山本貴史、教育指導監兼学校教育課長兼情報教育推進室長 遠藤宗男、
教育企画課長 矢田陽子、学校管理課長 望月浩司、
生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 後藤寿代、図書館事務長補佐 中川啓史、
調整担当・教育企画課長補佐 宇佐美利香、教育企画課指導主事 栗原克弥、
教育企画課指導主事 松岡ミユキ、教育企画課指導主事 岩本智明、教育企画課主任 藁科奏

5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後4時03分開会を宣言する。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に土屋委員、川口委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人より、録音及び撮影の希望があったため、奥村教育長が許可する。

傍聴人 3人

奥村教育長 今年も残すところ10日となった。市内小中学校は12月24日の終業式で2学期を締めくくり、1月5日までの12日間の冬休みを迎える。当初8月24日にスタートし授業日数85日を計画していた2学期も、緊急事態宣言下において夏休みを延長したため、9月1日に始まり授業日数79日となった。11月まで多くの学校を訪問したが、特に授業の遅れもなく、どの教室でもクロームブックを多くの先生方が工夫して活用し、小学校低学年でも慣れた手つきで操作していた。どの教室からも真剣なまなざし、学びを楽しむ子供たちの様子が見られた。この1年コロ

ナ禍がもたらした波及効果は非常に大きいと感じた。緊急事態宣言解除から新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は日を追う毎に減り、今や市内も新規感染者ゼロの日が続いて何よりだが、これから年末に向けて人の流れが増える。ニュース等では毎日、オミクロン株による諸外国での感染拡大の勢いが伝えられ、日本でも徐々に広がっている。子供たちも冬休み直前だが、気は緩められない。来年は、穏やかな気持ちで1年間過ごしたいと願うばかりである。

日本漢字能力検定協会が毎年発表している「今年の漢字」は、「金」に決まった。東京オリンピック・パラリンピックでの日本人選手による多数の金メダルの獲得、大谷翔平選手の活躍や日本人のノーベル賞受賞等、各界で金金字塔が打ち立てられたことが理由として挙げられた。2016年ブラジルでのリオ大会と2000年シドニー大会の開催年も「金」であったと思う。皆さんが今年を振り返り、自分にとっての一年を漢字一文字で表すなら何か。学校関係でいろいろな不祥事やコロナ対応もあったので、私の今年の漢字は、「辛」である。あと一步頑張れば、一本横棒を足すと、「幸」せになる、いい気分になるという、来年の自分への励ましの漢字である。今年1年がもうすぐ終わるが、最後の定例会をしっかりと行いたい。

(3) 教育長報告

奥村教育長

11月3日文化の日、沼津御用邸の東附属邸で長唄の披露会が行われ、市長と一緒に出席した。長唄では大変人気の高い名曲である「松の翁」は、150年近く富士市で作曲されたと考えられていた。しかし、昨年、東海道随一の名園と謳われた沼津市原の帯笑園当主にあたる植松家の家屋で、1877年に三代目杵屋正次郎が直筆した長唄「松の翁」の唄本が発見された。御存じのとおり帯笑園は、原の植松家が江戸時代後期から昭和初期まで代々伝えた庭園であり、平成24年に名勝地関係で国登録記念物となった。帯笑園を訪れた人々が記した芳名帳や記録が残っており、オランダ人医師のシーボルトや芸術家、皇族が来園したことがわかる。長唄の歴史に残る名人三代目杵屋正次郎が、明治10年6月、今から144年前に帯笑園を訪れた際の芳名帳に、庭園を見ながら「松の翁」を作曲した記録があった。長年富士で作曲されたとされていたが、実は沼津の地での作曲であった。伝統芸能を後世に引き継ぐことの大切さ、それを使命とする方々の存在の大きさを改めて知った。そのような意味でも、小中学生には、長唄をはじめとする日本の伝統芸能や伝統文化を知り体験する機会を増やすなど、その環境づくりに努めていく大切さを実感した。

昨年度港口公園に杉原千畝夫妻顕彰碑が建立され、11月14日に行われた第1回碑前祭に出席した。第二次世界大戦中、リトアニアのカウナス領事館に赴任した外交官杉原千畝氏は、ドイツの迫害によりポーランドなど欧州各地から逃れてきたユダヤ難民の困り果てた状態に同情した。1940年7月から8月に、外務省からの訓令に反して大量のビザを発給し、6,000人のユダヤ人の命を救った偉業は、現在も語り継がれている。この杉原千畝氏の偉業を称えた「命のビザ」は、20年以上も前から道徳の教科書に掲載され、私もかつて道徳の授業で必ず取り扱った。社会科の教員でもあり、第二次世界大戦中における戦時下の国内の状況や歴史的な背景を踏まえ、いかなることにも恐れず、人道・博愛の精神を貫いて行動した杉原千畝氏の生き方を、子供たちと一緒に学んだことが思い出される。その杉原千畝氏を、一番近くで支えた幸子夫人が沼津市の出身であり、夫妻が昭和22年幸子

夫人の妹の嫁ぎ先である上香貫東本郷町に4か月ほど身を寄せていた時期があったのは、とても光栄なことである。

MOA美術館第29回児童作品展の表彰式が、12月5日に市立図書館で行われた。私たちは、絵画や書写の作品を見るとき、第一印象はその出来映えを見ることが多い。この日は、フォーラム形式で子供たちと作品完成までのエピソードやタイトル等について話をした。絵画でも書写でも、この作品は、作者が何を思って描（書）いたのか、どのような想いが込められているのか、また、その想いを表すためにどのような工夫をしたのかという視点で見ることの大切さを学んだ。作者が子供でも大人でも、その作品の背景には作者が込めた想いやメッセージ、ストーリー等がある。絵画では、自分の表現したいことをイメージ通りの色や形や大ききさで創り上げる面白さがある。書写では、筆を持つ前から精神統一し、一筆の勢いや力強さ、文字のバランス等には、書く時の心理状態が影響する。迷うことなく、恐れずに集中して書けた時、非常に出来栄のいい、自分で満足のいく作品ができる。書写の部で市長賞に輝いた金岡小6年大田理夏さんの作品「挑戦」が、MOA美術館の全国展覧会でボーイスカウト日本連盟理事長賞を授与された。非常に名誉な賞であり、なかなか受賞できないものだと思った。受賞者の感想は、今年は延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本代表の選手から「挑戦」という言葉が何度もテレビから聞こえてきた。私も「挑戦」という文字がかっこいいと思い、書道でチャレンジしようと思った。上下のバランス、線の太さに気をつけながら文字にメリハリをつけた。特に、挑戦の「戦」の最後のはねは、勢いよく伸び伸び力強く書くことを意識した。6年生最後の夏休み、何日も何枚も書いたから、家族と一緒にこの1枚を選んでとてもいい思い出になった、ということであった。挑戦という文字に私も非常に刺激を受けた。12月19日、沼津千本ライオンズクラブ2021年度第17回千本賞の表彰式に出席した。千本賞は、沼津千本ライオンズクラブ結成20周年を記念して始められた青少年表彰制度である。今年で17回目を迎え、これまでに74個人、88団体を表彰している。今年度は全日本中学校陸上競技選手権大会女子100mで第2位となった原中学校3年小針はるなさんをはじめとする10個人や団体が表彰された。スポーツだけでなく、企業と学校が協働して地方創生や人材育成を目指す探求学習で地域貢献を高く評価された大岡中学校や、道端で倒れていたおばあさんに声をかけ、救急車を呼び、救急車が来るまでおばあさんに寄り添っていた勇気ある行動を評価された誠恵高校の1年生、先程話した杉原千畝夫妻顕彰碑除幕式に臨席したリトアニア大使、イスラエル広報官の英語スピーチの和訳や、川勝県知事等のお祝いメッセージの英訳等の通訳ボランティアを行った加藤学園暁秀高校3年生5名など、様々な活動が評価され表彰された。表彰された子供たちの表情は、まさに、貴き志を持つ人として輝いていたように見えた。教育長報告は以上とする。

<議 案>

奥村教育長 日程（4）議案は、本日は案件なし。

<協 議>

奥村教育長 日程（5）協議事項は、本日は案件なし。

<報 告>

奥村教育長 日程（6）報告事項である。

報告事項1 令和3年11月市議会定例会一般質問等について

<本会議で行われた一般質問等について報告する。5人の議員から、ポストコロナにおける未来を担う人づくりについて、性的少数者に対する本市の施策について、学校のトイレ環境の整備について、通学路における安全対策について、第一・第二中学校区における学校規模・学校配置の適正化について、今後の本市公立学校の学校規模・学校配置の適正化について等の質問があり、教育長または教育次長が答弁を行った。>

(教育次長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。
- 重光委員 学校のトイレ清掃は、児童生徒の手から保護者やPTA、教職員が行う学校もあると記載されているが、子供がトイレ清掃をしているのか。もう1点、50%以上のトイレの洋式化が2年程前に達成されたと思うが、その後は洋式化を特段進めていないのか。女子の方だけでも、もう少し洋式化を進めたほうがよいと思う。
- 学校教育課長 トイレ清掃は、これまで通り児童生徒が実施している学校もある。一部、地域または保護者の協力を得てボランティアに移行した学校もある。特にコロナ禍で消毒の必要があることから、その動きが早くなったことは把握しているが、全ての学校で移行しているわけではない。
- 学校管理課長 学校トイレの洋式化は、平成28年度から30年度に校舎内のトイレの洋式化50%以上を目標に洋式化事業を進めた。現在、校舎内のトイレの約54%が洋式化している。目標は達成したが、その数字に満足することなく今後予定している大規模な改築、改修等に合わせ、基本的には学校トイレは洋式化またはドライ化等を行う。必要に応じて、順次洋式化を進めている。
- 奥村教育長 各家庭において、ほとんどが洋式トイレを使用していると思う。小学校低学年で、家と違うトイレだと心理的にも使いにくいと聞いている。是非ともスピード感を持って対応してほしい。
- 川口委員 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの件である。何か心に問題を抱えた子供がスクールカウンセラーと話し、例えば家庭に問題があるケース等では、スクールソーシャルワーカーが青少年教育センターと連携する流れはできているのか。
- 学校教育課長 問題を抱えている子供の相談を受け、子供、家庭、学校、そして専門機関を結びつけることが、スクールソーシャルワーカーの役割である。その方々が、青少年教育センター等と結びつけ、相互に連携を取りながら解決に向けて協力し合っている。
- 川口委員 別々に動くのではなく、そのような連携をすることで救われる子は増えると思う。
- 奥村教育長 一つの手立てとしてスクリーニングを考えている。各学年の先生方の中に、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーに入ってもらい、虐待的なことが予想されるポイントが高い子供、経済的に非常に困窮し必要な物が用意

できない家庭など、いろいろな視点で助言をもらう方法である。何かが起こってからではなく、起こる前にスクリーニングにかけ、未然または早期に対応することを来年度に向けて考えている。スクールソーシャルワーカーの効果的な活用方法については、まだまだ工夫の余地があると思っている。

重光委員

一中・二中の統合問題についてである。我々として、いまさら手続等について振り返ることはないが、私の子供の同級生の母親は千本地域に住んでいる方もいる。その方から話を伺うと、統合については民主的に進めていただき、丁寧に説明もしていただいたが、突然、統合がなくなってとても残念だったという意見をいただいた。統合を期待していた方もいるので、そのような方に対して隣接校の利用要件を和らげるなど、利用する子供たちにとって一番よい対応が何かを考えながら、暫定的な措置や工夫が必要ではないかと思う。今後も一番の利用者である子供たちの利益を考えて検討していきたい。

教育企画課長

統合を期待していた子供、保護者からのそういった声は伺っている。今のところ制度を変えて対応することは考えていないため、現状の隣接校選択制度や指定校変更制度の中で対応していく。個別に相談に来る方もいるため、その際は丁寧に対応していきたい。

土屋委員

今回の報告資料を見ると、統合に関する質問が劇的に多いと感じた。教育委員会の方針は今までと変わっていないと思っている。先日送付された第一・第二中学校区にお住まいの方宛のおたよりも読んだ。その会合に集まった方々の意識がそういう方向に向いていたこともあると思うが、非常に残念に感じた。現在子供を学校に通わせておらず昔の第二校区への思いを持っている方が、住民の割合としては多く、その方々の思いもわかる。しかし、これからの子供たち、これからの地域の発展のことを考えると、教育委員会の方針は間違っていなかったと、私は今も思っている。おたよりに書かれている大勢の皆さんの意見を見ると、本当に残念な気持ちがひしひしと感じられる。いろいろな考えをお持ちの方がいることは十分に理解しているが、沼津の子供たちの将来を考えた教育委員会の姿勢は変わらないことを示していきたい。

教育企画課長

教育委員会の方針は変わっていない。これからも子供たちのために、よりよい教育環境を作っていきたいと考えている。しかし、地域の方からの御指摘のとおり、周知の方法等、不十分であった部分については反省しなければならない。今後の進め方については、皆さんに相談しながら改めて考えていきたい。

奥村教育長

ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

報告事項2 「2021高校生しゃべり場inぬまづ」の実施報告について

<12月19日に沼津仲見世商店街で、「高校生一人一人が想うSDGs～豊かな自然・環境と共生する持続可能なまちづくり～」をテーマに、市内12校の高校生12人が集まり、熱い討論を繰り広げた。1時間の限られた時間の中で、テーマを3つの視点で考えを広げ、最終的に「豊かな自然・環境と共生する持続可能なまちづくり」のために高校生の立場からできることに意見をつなげた。意見からは、十分に下調べをしてじっくりと考え意見を構築していることが感じ取れた。傍聴者を対象に行ったアンケートでは、高校生一人一人が真剣にSDGsや仲見世商店街、沼津市のことを考えていることが伝わってきた等の好意的な感想が多く寄せられ、高校生の意識が届いたのではないかと感じている。事後研修会

では、私たち参加者が各高校へ持ち帰り何ができるかを改めて考える必要があるといった意見が出され、環境・自然問題に対し、学校の枠を超えて継続的に活動していくことを確認し合った。今回のしゃべり場での気づきや学びをどのように次の考えや行動に生かしていくのかという点も重要であることから、今後も高校生の自主的な活動を可能な限り支えていく。>
(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。
重光委員 当日は寒かったと思う。こんなに寒い時期ではなく、もう少し暖かい時期に行ったらどうか。
- 生涯学習課長 当初8月に開催を予定していたが、8月はコロナがピークの時期であったため、高校生の試験期間や学校行事を勘案し、12月に設定した。開催時期について参加校に投げかけたところ、快諾していただけたため、寒さ対策を十分に行った上で開催した。当日は確かに寒かったが風がなく、寒さに負けない熱い議論が交わされた。
- 佐藤委員 しゃべり場inぬまづについては、青少年問題協議会のメンバーになったときに初めて知った。当時は屋内で開催され人目に触れていなかったが、今回のように屋外で開催することで、通りがかりの人も目にしたり、立ち止まって聞いたりできたのではないか。寒かったかもしれないが、場所的にはよかったと思う。
- 奥村教育長 昨年引き続き、屋外会場で行った。来年については検討願う。
川口委員 他のイベントとコラボレーションすると、さらに多くの人に見てもらえるのではないか。お祭り等、人が集まるところで行えば、高校生のやりがいもあると思う。
- 生涯学習課長 開催時期、開催場所について、今回の実施を踏まえて今後検討していく。
奥村教育長 ほかになければ、本件については報告を受けたということで御了承願う。

報告事項3 ビブリオバトル小中学生大会 in 沼津 2021の実施報告について

<ビブリオバトルは、各自が読んで面白いと思った本を紹介し合い、参加者全員でディスカッションを行った後、「どの本が一番読んでみたくなったか？」を基準として、チャンプ本を決める知的書評合戦である。「話す」「聞く」「対話」を重視し、プレゼンテーション能力や議論を進める能力を養うことを目的とし、子供たち一人一人が本と出会い、本を読む楽しさ、討論の楽しさを体験することにより、より一層の読書活動の契機となることを目指している。12月12日に一次審査を勝ち抜いた小学生8人、中学生5人が、決勝大会となるビブリオバトル小中学生大会in沼津2021に出場し、熱戦を繰り広げた。>
(図書館事務長補佐 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わった。昨年は中止となったが、今年で7回目である。本件に関する御意見、御質問等いかがか。
- 佐藤委員 冬休みの宿題で読書感想文があり、息子ともめたことを思い出した。その時は、課題図書から読む本を選ぶ形だったと記憶している。今回のビブリオバトルで紹介された本を、他の児童生徒に推薦する活動は行うのか。

図書館事務長補佐 2か月に1回発行している図書館だよりで、今回のビブリオバトルの様子や本の紹介をし、図書館のホームページにも掲載することを考えている。

奥村教育長 ビブリオバトルの趣旨は、まさに、話し手が自分のトーク術を駆使し、この本が面白いから読んでほしいとアピールすることで、聞き手にその本を読みたいという思いを持たせる大会である。午前中の小学生の部に出席し講評でも述べたが、準優勝した準チャンプ本の第四小の児童は、まるでアナウンサーのような大人顔負けの話しぶりであり、小学生がここまでできるのかと大変驚いた。先程のしゃべり場もそうであるが、沼津として言語科をこれまでやってきて、読書の推進と言語教育がうまくマッチングし相乗効果を上げていると感じる。わたしの主張大会でも、毎回とても感動する。小学生であっても素晴らしいアピール力、プレゼンテーション能力を持っている。やればやるほど毎年レベルが上がる。来年度は教育委員の皆さんを招待し、是非ビブリオバトルを見ていただきたい。検討願う。
ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

奥村教育長 日程（7）その他、何かあるか。
なければ、本日の定例会を終了する。

午後5時16分 閉会